身近にある日本書紀ゆかりの地をめぐってみませんか。

日本書紀めぐり旅 Vol.5

伝飛鳥板蓋宮跡

政変の舞台は日本の原風景の中に5代の天皇の宮跡が眠る

645年、中大兄皇子(後の天智天皇)と中臣鎌足らは朝廷内の儀式に乗じて、時の権力者、蘇我入鹿の暗殺を計画します。俳優を使って入鹿に剣を外させ、十二の通門を閉鎖。中大兄皇子は母である皇極天皇の目の前で、配下共々、自ら入鹿に斬りかかったと『日本書紀』に記されます。蘇我入鹿を暗殺したこのクーデター「乙巳の変」を機に、国政の一大改革「大化の改新」が行われることとなりました。

そのクーデターの舞台となった地が、伝飛鳥板蓋宮跡です。ここには飛鳥時代に在位した8代の天皇のうち、なんと5代の宮があったとされています。現在、地表にあるのは飛鳥浄御原宮の復元です。その下に入鹿暗殺の場となった飛鳥板蓋宮など宮殿遺構が眠っています。

「日本の中心であったこの地に立って、はるかな歴史に想いを巡らせてみては」と語るのは、飛鳥京観光協会ボランティアガイドの新子恵映さん。飛鳥宮跡から望める甘樫丘に蘇我蝦夷、入鹿父子が家を並び建てたと『日本書紀』には記されています。ここには日本の原風景といわれる明日香の里の景色が広がります。岡寺や石舞台古墳など名所旧跡も多く、歴史探訪の豊かな時を過ごせます。

飛鳥寺

中大兄皇子が「乙巳の変」の際に陣を置いたとされる飛鳥寺。宮跡から北へ約800mのところにある。

「伝飛鳥板蓋宮跡」

所 明日香村岡
問 飛鳥京観光協会 ☎0744-54-2362
近鉄橿原神宮前駅か近鉄飛鳥駅から明日香周遊バス「赤かめ」に乗車、「岡天理教前」バス停下車西へ約200m。
歩く・なら推奨ルートマップは
乙巳の変、そして大化へ 検索

「古代歴史文化賞」記念シンポジウム

【主催】奈良県　【協力】島根県、三重県、和歌山県、宮崎県
【後援】朝日新聞社

2月6日(土)銀座ブロッサム(東京都)で開催

要事前申込 12/15受付開始

「古代歴史文化賞」は奈良・島根・三重・和歌山・宮崎県が連携して、古代歴史文化に関する優れた書籍を表彰することを通して、歴史文化への関心を高めることを目的に平成25年に創設されました。今年度の受賞者および各県知事が集う記念シンポジウムを開催します。

申「古代歴史文化賞」記念シンポジウム事務局(12/15開設予定)にお申込みください(無料)。最新の情報は、なら記紀・万葉HPで。
問 県ならの魅力創造課
☎0742-27-8975 FAX0742-27-7744
なら記紀・万葉 検索